

AOC Holdings, Inc. (TSE:5017)



2009年3月期第2四半期決算説明会

2008年11月12日

AOCホールディングス株式会社

09/3月期第2四半期 連結決算の概要

(億円)	09/3月期第2四半期 \$115.1/Bbl ¥106/\$			08/3月期第2四半期 \$67.4/Bbl ¥119/\$			増減額 \$47.7/Bbl △¥13/\$		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計 (増減率)
売上高	2,179	4,268	6,447	1,334	2,943	4,278	844	1,324	2,169 (51%)
営業利益 除在庫影響	25	88 37	114 62	23	97 77	120 100	2	△8 △39	△6 (△5%) △37 (△38%)
経常利益	25	93	118	23	100	124	2	△7	△5 (△4%)
当期純利益	8	49	57	10	61	72	△2	△12	△14 (△20%)

(注)売上高は外部顧客への販売金額。油価はドバイ原油

売上高

(億円)

7,000

6,000

5,000

4,000

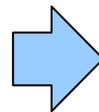
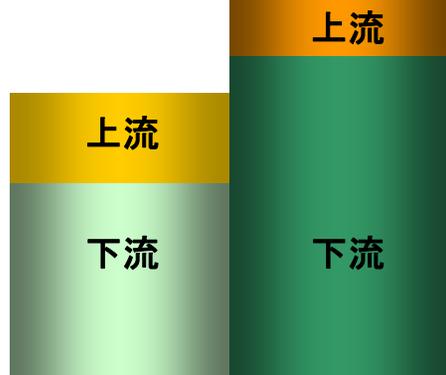
3,000

2,000

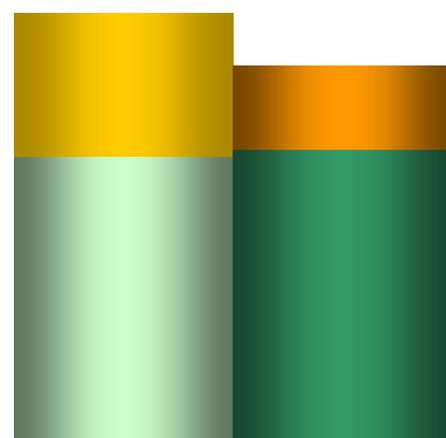
1,000

0

08/3月期
第2四半期



09/3月期
第2四半期



売上高

営業利益

売上高

営業利益

営業利益

(億円)

140

120

100

80

60

40

20

0

原油販売量/販売価格

	販売量(千バレル/日)			販売価格(\$/バレル)	
	09/3月期 第2四半期	08/3月期 第2四半期	増減率 (%)	09/3月期 第2四半期	08/3月期 第2四半期
クウェイトとの売買契約による購入原油	104.4	95.3	9.5		
カフジ原油	99.6	90.3	10.2	107.58	62.91
フート原油	4.8	5.0	△4.0	116.26	67.44
権益原油	3.1	3.5	△5.7		
南海ミディアム原油 (中国南シナ海)	*2.7	3.0	△10.0	*108.45	62.95
エコフィスク原油 (ノルウェー領北海)	*0.6	0.5	20.0	*111.40	62.83
合 計	107.7	98.8	9.0	—	—

* 1-6月

石油製品販売量

(千KL)

	09/3月期第2四半期	08/3月期第2四半期	増減率(%)
揮発油	1,100	912	20.6
ナフサ	168	234	△28.2
ジェット	662	632	4.7
灯油	47	49	△4.0
軽油	740	769	△3.7
A重油	98	101	△2.9
C重油 (内電力向け)	764 (630)	661 (525)	15.5 (20.0)
ベンゼン	69	80	△13.7
キシレン	146	157	△7.0
その他	400	287	39.3
小計	4,199	3,886	8.0
ジョイント・バーター	332	493	△32.6
合計	4,532	4,380	3.47
内、輸出量(除バンカー)	222	191	16.2
原油処理量	3,919	3,947	△0.7

セグメント別売上高/営業利益

内部取引 消去後 (億円)	09/3月期第2四半期		08/3月期第2四半期		増 減	
	*石油・ガス 開発/販売	石油 精製/販売	石油・ガス 開発/販売	石油 精製/販売	石油・ガス 開発/販売	石油 精製/販売
売上高	2,179	4,268	1,334	2,943	844	1,324
営業利益	25	79	23	97	2	△18

売上高/営業利益増減分析

売上高/営業利益増減分析		増加要因	減少要因
売上高	石油・天然ガス/販売	販売数量の増加 + 9% 販売価格の上昇 + 71%	南シナ海 生産量減退
	石油精製/販売	販売数量増 + 3% 単価上昇 + 44%	
営業利益	石油・天然ガス/販売	販売価格の上昇 + 15億円	TSA終了・販管費の増加 △13億円
	石油精製/販売	在庫影響 + 122億円 (20→142億円) 燃料油マージン拡大 + 15億円	在庫評価損 △90億円 化成品・ピッチマージン △59億円

* 従来の「カフジ関連事業」を統合し、当期より「石油・ガス開発/販売」と表記しております。
08/3月期の数値は、比較のための参考数値であります。

営業外損益/特別損益の内訳

営業外損益明細

(百万円)	09/3月期 第2四半期	08/3月期 第2四半期	増減
営業外収益	3,917	4,509	△592
受取利息・配当金	1,560	2,210	△650
持分法投資利益	1,578	454	1,124
為替差益	465	1,354	△889
その他	313	490	△176
営業外費用	3,428	4,107	△678
支払利息	3,202	3,591	△388
その他	225	515	△290

特別損益明細

(百万円)	09/3月期 第2四半期	08/3月期 第2四半期	増減
特別利益	-	-	-
特別損失	1,828	136	1,692
投資有価証券評価損	1,056	-	1,056
原油売買契約和解金	730	-	730
その他	41	136	△95

連結貸借対照表の主な増減項目

	08/9月末	08/3月末	増減額	主な増減要因 (億円)
流動資産	3,048	2,537	510	棚卸資産 +358 売掛金 +231
固定資産	2,057	1,981	76	
有形固定資産	1,244	1,187	57	
投資その他の資産	801	780	20	KGOC貸付為替評価差 +17
資産 合計	5,106	4,518	587	
流動負債	2,672	2,115	556	油価上昇に伴う短期運転資金借入増 +499
固定負債	939	951	△11	長期借入金純減 △15
負債 合計	3,612	3,067	544	
純資産 合計	1,494	1,451	42	当期利益 +57 配当 △11
負債純資産 合計	5,106	4,518	587	

KGOC(Kuwait Gulf Oil Company) : クウェイトとの技術サービス契約および融資契約の相手先

自己資本比率 29% DEレシオ 1.1 (除 KGOC貸付見合いの借入)

連結キャッシュフローの状況

(億円)

	09/3月期 第2四半期	08/3月期 第2四半期	09/3月期第2四半期 説明
営業活動によるCF	△368	△76	税前利益 +100 減価償却費 +52 売上債権増加 △231 棚卸資産増加 △358
投資活動によるCF	△100	△229	有形固定資産取得 △107
財務活動によるCF	437	334	短借純増 +500 長借純増 △50 配当 △11
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	1	
現金及び現金同等物の増減	△33	29	
現金及び現金同等物の期首残高	318	257	
非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	
現金及び現金同等物の期末残高	284	287	

▶ 事業環境

- ・ 原油価格は冬場の需要期に向けて上昇
- ・ 原油重軽格差はやや縮小
- ・ 国内燃料油需要は引き続き減退(電力向けC重油の需要は堅調)
- ・ 化成品のマージンは厳しい

▶ 事業計画

上流事業

- ・ 新規開発・生産案件の調査・発掘
- ・ 進行中の開発案件(エジプト・ノルウェー)の早期事業化推進
- ・ 既存生産油田の最適操業維持
- ・ 原油販売計画: 105千バレル/日

下流事業

- ・ 袖ヶ浦製油所の安定的高稼働操業の維持
- ・ 石油製品販売計画: 8,707千KL
- ・ ユリカ装置増強/A重油対策設備工事の推進/ガソリン輸出設備増強完了(10月末)
- ・ 大規模定期修理に向けての万全の準備

見通しの前提(通期)

- ◆ 原油価格: ドバイ原油
..... \$98/bbl
- ◆ 重軽格差 AL-AH: \$7.2/bbl
- ◆ 為替レート: 106円/\$

09/3月期 通期原油・石油製品販売量

原油
(千B/D)

	09/3期(計画)	08/3期	増減率(%)
カフジ原油(売買契約)	97.3	89.8	8.3
フート原油(売買契約)	4.9	5.0	△2.0
南海ミディアム原油(権益原油)	2.4	2.5	△4.0
エコフィスク原油(権益原油)	0.5	0.5	0
原油計	105.1	97.8	7.4

石油製品
(千KL)

揮発油	1,929	1,781	8.3
ナフサ	346	470	△26.3
中間留分	3,297	3,314	△0.5
C重油 (内電力向け)	1,466 (1,272)	1,402 (1,119)	4.5 (13.6)
ベンゼン・キシレン	429	458	△6.3
その他	752	563	33.5
小計	8,225	7,992	2.9
ジョイント・バーター	482	917	△47.4
石油製品計	8,707	8,910	△2.2
内、輸出量(除バンカー)	407	398	2.2
原油処理量	7,809	7,787	0.2

09/3月期 通期連結業績見通し

単位:億円

(油価はドバイ原油)	09/3月期 見通し \$98.0/Bbl ¥106/\$			08/3月期 実績 \$77.3/Bbl ¥114/\$			増減額 +\$20.7/Bbl △¥8/\$		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計 (増減率)
売上高	3,620	7,540	11,160	2,917	6,390	9,307	703	1,149	1,852(20%)
営業利益	33	82	115	6	133	139	26	△51	△24(△18%)
除在庫影響		98	131		108	115		△10	16(14%)
経常利益	39	86	125	△16	131	115	55	△45	9 (8%)
当期純利益	13	47	60	△30	77	46	43	△30	13(29%)

営業利益の増減要因	増加要因	減少要因
上流	原油価格の上昇 +26億円 探鉱費の減少 +17億円 (24→7億円)	TSAの終了・販管費の増加 △17億円
下流	期首在庫影響 +26億円 (24→50億円) 石油ピッチの-margin改善 +32億円 石油製品の-margin拡大 +18億円	化成品の-margin縮小 △68億円 期末在庫評価損 △66億円

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問合せ先：
IR・広報部 菊池、粕谷